

5月の銅マーケットレポート及び6月の見通し (3)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



【電線】

前年比+0.6%の5万6900t。うち国内+0.5%、輸出が+5.3%。

通信-8.7%、電力-12.7%、電気機械+1.1%、自動車+6.1%、建設電販+2.8%、その他内需-7%。

【輸出】

電気銅輸出が-20.6%の4万4497t。銅スクラップは+16.3%の1万8039t。

【輸入】

電気銅が-42%の1712t。スクラップは+9.1%の10479t。

【見通し】

・自動車は生産が+0.2%。

国内販売台数が前年比-0.6%。小幅ながら生産が3カ月ぶりプラス、販売が7カ月ぶり再びマイナス。販売が増加に転ずるかどうかが今後注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で+0.3%と微増ではあるが10カ月連続プラス。

増加傾向が続くのかどうか今後の動向に注目

・伸銅品は、2カ月連続減少、前年比-0.6%。

需要の多い銅条は、24カ月ぶり変わらず、黄銅棒は3カ月ぶりプラス、輸出は4カ月連続マイナス。

自動車の伸び悩みが続く中、伸銅品生産も減少しており今後の動向に注視。

・電線は、前年比+0.6%の5万6900t。

輸出が+5.3%。

需要の多い自動車、建設電販が増加。

それぞれ、+6.1%、+2.8%に。建設電販は3カ月振りプラスに！

・銅輸出は、地金は内需用途から減少。輸出は円安から増加。

・銅輸入は、大幅な円安から地金は減少。代わりにスクラップは増加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は前月半ばごろ建値80万台で安定した事もありほとんどでないのではないかと。

需要面に関しては足元の生産状況は足踏み状態にあるが比較的良好。

ただメーカーが引き続き人手不足問題から地金を優先に使用していることから品費の低いスクラップに関しては購買意欲は薄く均衡状態になるのではないかと？

【価格・為替予想】

今月は6月12日開催予定の米朝会談及び鉱山ストに左右される。米朝会談に関しては、二転三転したうえで開催であり北朝鮮がトランプ大統領への脅しで失敗した後での開催であることから脅しが通用しないことは承知の上、大きな前進があるのではないかと？

鉱山ストに関しては5%シェアの世界最大チリ・エスコンディダ銅山での緊張をはらんだ労使交渉の再開が行われているが労使交渉は行き詰まる可能性が高いとの報もあり供給不安は続くのではないかと？

それらを踏まえた6月の銅価格は、米朝会談や鉱山ストが問題なく終了した場合、先月高値の7,000ドルを予測。いずれかの場合は6,800ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合先月安値の6,700ドル。

為替は、上記材料から、ドル円値は108円~110円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては760~810円程度と予測している。

【5月の銅マーケットレポート及び6月の見通し】終了！

亜鉛くず 現金高価買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会さう

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山えり

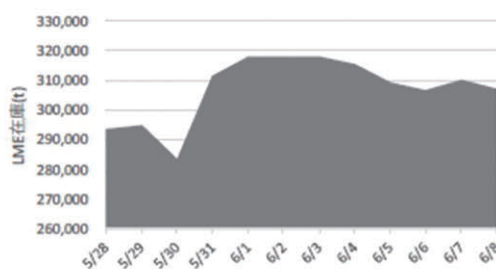
〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974

LME認定倉庫在庫量推移 5月28日~6月8日(現地)

銅



錫

